

第13回 鳳来北西部地域協議会 会議録（要約）

日 時	令和5年3月14日（火） 午後7時～午後8時45分
場 所	玖老勢コミュニティプラザ 1階 第1会議室
出席者	委員21名 事務局3名
傍聴人数	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 会長あいさつ 2 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度地域自治区予算事業の執行状況 (2) 令和4年度地域協議会に関するアンケート調査 3 議事 <p style="margin-left: 20px;">地域計画推進体制検討会について</p> 4 意見交換 5 その他
<p><u>1 会長あいさつ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原田会長よりあいさつ ・議事に先立ち、会長から下記の委員を議事録署名人として指名。 【議事録署名人】 『名簿5番』原田秋生委員 『名簿6番』田中宗雄委員 <p><u>2 報告事項</u></p> <p>(1) 令和4年度地域自治区予算事業の執行状況</p> <p>○事務局より資料に沿って説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共有活動支援事業は3月下旬まで活動があるため、未完了となっている。 ・ 無形民俗文化財保存事業で四谷のはねこみの記録撮影を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、略式で実施することとなったため、保存会と協議した結果、撮影を取りやめた。従来通り実施できる時に、改めて撮影したいという意向もあったため、今後予算計上も検討したい。 ・ その他事業については、予定通り予算執行することができた。 <p>【質疑応答】 特になし</p>	

(2) 令和4年度地域協議会に関するアンケート調査

○事務局より資料に沿って説明

「Q1について」

多くの委員が事前説明会は必要と回答。地域協議会委員としての具体的な役割や市のまちづくりの基本となる自治基本条例についての説明も必要などの声があった。

⇒自治基本条例や地域協議会委員の具体的な役割などを含めた内容で事前説明会を実施する。

「Q2について」

地域協議会の回数は半数以上が適切と回答。多いと感じた委員もいた。

⇒各委員に対し事前調査を行い、スケジュールを調整する。会議の効率化を図るために分科会毎に来年度検討してもらいたい内容を引き継ぐこととする。

「Q3について」

オンラインの導入については、後ろ向きな委員が多かった。

⇒オンラインでも参加できるように環境を整え、より多くの方が参加しやすくなるように配慮したい。

「Q4について」

委員構成については、委員数については適切と感じる委員が多いが、年齢層や男女比については改善が必要だという意見が多かった。委員選出方法については、地域の団体から複数年継続できる人を加えてはどうかとの声があった。

⇒委員数の見直しや、女性・若い世代の意見を取り入れる方法など、今後地域協議会内でも検討していきたい。

「Q5・Q6について」

多くの委員が地域協議会に関わることで、地域や市政に興味を持つことができたと回答。しかし、地域の人には地域自治区の取り組みが伝わっていないと多くの委員が感じている。

⇒地域協議会だよりを各戸配布とするなど、地域住民への周知を図る。また、地域協議会委員が窓口となっていただくことで、多くの人の声が事業立案などに反映できるようにしたい。

「Q7について」

様々なアイデアをいただいたので、今後の運営改善の参考とさせていただく。

【質疑応答】

(委員)

3つの地区の行事を見たり、参加したり、手伝ったりすることが大切との意見がある。このような活動に取り組むことで地域自治区の広がりを増やすことも大切だと思う。会議だけでなく、実際に現場をみる機会も作って欲しい。

(委員)

2年間の委員任期が終わるが、自分が感じたことがアンケートに反映されている。これまでに様々な課題について話し合ったが、解決に至ったものがなかったので、1つの課題に対して徹底的に取り組んで、1つずつ解決した方がよい。

3 議事

地域計画推進体制検討会について

○事務局より資料に沿って説明

・第10回地域協議会にて検討会で話し合われている方向性について概ね賛同をいただいた。この時にいただいた意見を反映して検討会でまとめたものである。

・この推進体制案の方針について採決をお願いしたい。

「地域協議会について」

まずは現状の人数で組織し、今後地域協議会と地域との連携が整ってきたら、地域協議会委員の削減や地域協議会で行っている立案部分を地域に移行することなども検討しつつ、鳳来北西部地区の中核機関として新たな組織を設立することなども視野に入れていく。

「分科会について」

地域計画の3つの柱となる「地域振興」「子育て」「生き生き」を中心とし、継続して地域計画を推進するための予算事業計画の立案や地域活動団体へのサポートなどを実施していく。

「地域との連携について」

地域との連携を深めるために、各分科会で核となる数名のメンバーと協力組織との意見交換を実施し、予算事業計画により地域の声を反映させる。また、地域自治区予算だけでなく、地域活動交付金など違う形での実施方法なども併せて検討する。

「今後の進め方」

地域協議会と地域との連携を深め、地域計画を推進していくための協力者を増やしていけるように、できることから実施していく。また、この体制が完成形ではなく、取り組みをしていく中で、課題が出たらその都度検討し、よりよい推進体制を実現していく。

「最終目標」

鳳来北西部を1つの地域にとらえ、計画・実行ができる体制を実現するために、できることから一つ一つ課題をクリアしながら、この地域に合った推進体制を構築していく。

【質疑応答】

特になし

【採決】

賛成多数により原案どおり承認。

承認された体制案について地域計画推進体制検討会で報告書としてまとめ、市長に提出する予定。

4 意見交換

○来年度への引き継ぎ事項について、分科会毎に意見交換を行った。

【地域振興分科会】（原田分科会長）

・無形民俗文化財については、次の世代への継承が難しいことが課題となっているので、記録映像を残すことは大切。四谷はねこみ以外でも撮影していきたい。

・鳳来北西部では、川売の梅、玖老勢の花桃、海老の梅園など、花を活かした活動が盛んである。地域の良いものを残す方法を考えたい。

【子育て分科会】（名倉分科会長）

・こども園、小・中学校 PTA と連携して地域自治区予算に反映させたい。

・子どもの遊び場については、小学校や公民館を気軽に利用できる方法を考えるため、教育委員会と話し合うことが必要。地域が広い割に子どもの数が少ないため、どこかの場所に集中して整備していくことも必要かもしれない。

・中学校を卒業すると、こども達が地域と関わるのが少なくなるので、高校生などが集まることができる地域の行事を考えられるといい。

【生き生き分科会】（村雲副会長）

・地域の足について、デマンドバスのお話が出ているので、高齢者が利用しやすい方法を市に提案してはどうかとの話が出た。豊鉄バスと S バスの乗り継ぎがよくないなどの意見もあるので、その部分についても提案したい。

・社会福祉協議会の福祉バス利用については、うまく活用する方法を検討して地域計画の推進を図りたい。

・高齢者の集まる場所作りについては、つくしんぼうの会が活動してくれているが、免許を返納すると参加しにくくなるので、参加しやすい方法の整備が必要。

・全体的にはテーマを絞って話ができればと思っている。

5 その他

○令和 5 年度の予定について事務局から説明。

・鳳来北西部地域協議会事前説明会 4月11日（火）午後7時（予定）

・第1回鳳来北西部地域協議会 4月18日（火）午後7時（予定）

・鳳来寺田楽が文化庁の事業に取り上げられたことについて

○菅沼事務所長あいさつ

○会長あいさつ （午後8時45分終了）